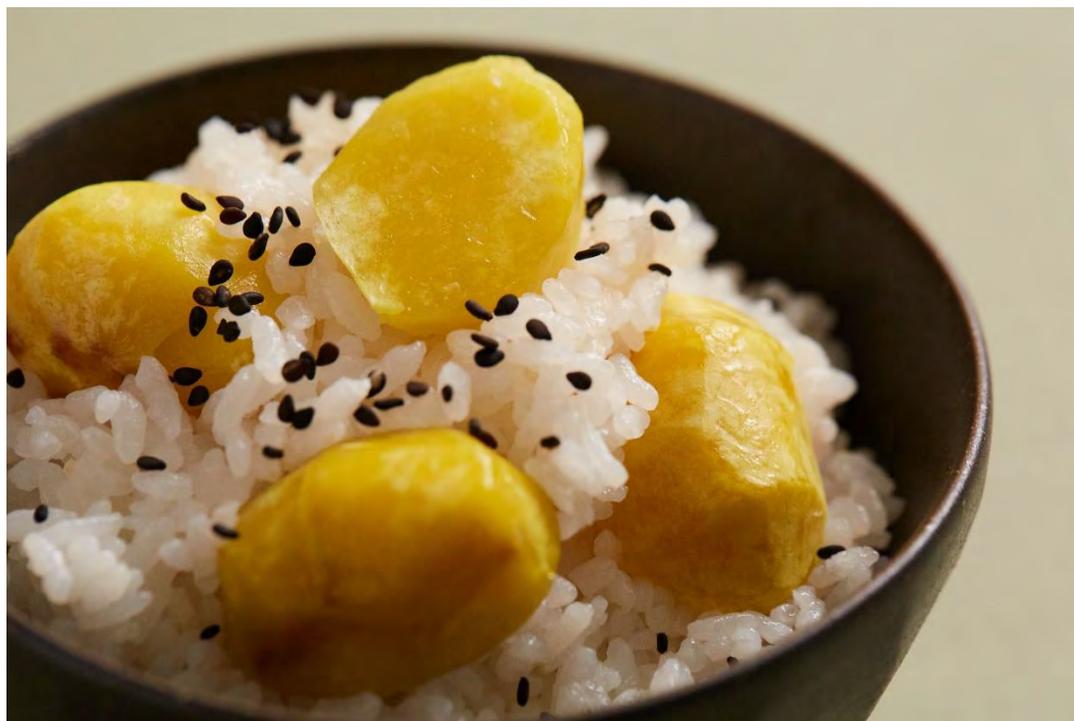


米に関するマンスリーレポート (令和5年10月号)



うちの郷土料理 京都府 栗ごはん
次世代に伝えたい大切な味

出典:農林水産省「うちの郷土料理」
詳細情報を裏面で紹介

「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは

⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあり得ます。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック！

https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaiset.html

うちの郷土料理

次世代に伝えたい大切な味

京都府 栗ごはん

主な伝承地域

中丹地域、南丹地域

主な使用食材

栗、米

歴史・由来・関連行事

京都の名産の一つに、丹波地域でとれる「丹波くり」がある。「丹波くり」は品種ではなく、丹波地域でとれる栗のことを指す。非常に大ぶりで甘みがある「丹波くり」の歴史は古く、「延喜式」に「丹波くり」の名が登場し、平安時代ごろから貴族の間で食べられていた。江戸時代になっても、幕府や朝廷への献上品として重宝されていたという。

「丹波くり」は現在もブランド栗として全国にその名を知らしめている。丹波地域は山々が地域を囲うように連なり、盆地を形成していることから、昼夜間の寒暖差が大きい。また、山の間を大小の河川が流れ、肥沃な土壌にも恵まれるなど、農作物に甘みが増す条件がそろっていることから、栗も質の良いものが育つと考えられている。

丹波地域では、古くからゆで栗や焼き栗、甘露煮など、さまざまな調理法で栗を楽しんできた。「栗ごはん」も数ある栗の味わい方として親しまれている。少し塩をきかせたごはんに「丹波くり」を入れて、栗の甘さをより引き立たせて食べる「栗ごはん」は、秋に欠かせない一品である。

食習の機会や時季

秋になり、店頭で栗が並び始めると各家庭でつくられる。栗は鮮度が短く、落下後から劣化がはじまり風味が落ちてしまうため、すぐに調理することが重要。そのため、生の栗を使った「栗ごはん」は、秋限定のごちそうといえる。

飲食方法

炊飯器に米、塩、栗を入れて炊いて食べる。お米1合に対し、塩は小さじ1杯程度が目安。少し塩をきかせることで、栗の甘さがより引き立つ。もち米を入れて、栗おこわ風にするアレンジもある。

栗は、鬼皮、渋皮をむいたらすぐ水につけ、濁らなくなるまで水を変える。この下処理をしっかりとこなしておく、「栗ごはん」の仕上がりが変わってくる。

材料（1人分）

・米	3カップ	・塩	小さじ1・1/2
・むき栗	15個	・水	3・1/3カップ
・昆布	5cm角	・黒ごま	少々
・酒	酒		

作り方

- 1 栗は鬼皮、渋皮をむいたら、すぐに水につけ、濁らなくなるまで水を変える。
- 2 米は炊く30分前に洗ってざるに上げ、水を切っておく。
- 3 米、水、出汁昆布、塩、酒を合わせ、むいた栗を加えて炊く。
- 4 できあがったら、器に盛り、黒ごまを振りかける。

※レシピは地域・家庭によって違いがあります。

目次（令和5年10月号）

特集

- 1 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量 **特集-1**
農林水産省(統計情報)HP https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y3
- 2 令和5年産の水田における作付状況 **特集-7**
農林水産省(農産)HP <https://www.maff.go.jp/j/syoutan/keikaku/soukatu/sakudou.html>
- 3 令和5年産米の事前契約(播種前契約)の取組状況について **特集-9**
- 4 酒造好適米の全体需給の推計 **特集-11**
農林水産省(農産)HP https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

1 米の民間在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500^ト以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）の在庫量と年間玄米仕入数量4,000^ト以上の販売段階（米卸等の販売業者の在庫量）を対象に調査し、その合計（出荷段階＋販売段階）の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

1 民間在庫の推移

農林水産省(農産)HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1)全国段階の民間在庫の推移(うるち米)(速報)
- (2)産地別民間在庫の状況
- (3)令和4・5年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)(速報)

在庫-1

Excel

在庫-4

Excel

在庫-5

Excel

2 米の価格情報

相対（あいたい）取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等との間で、年間を通じて「相対取引」が行われています。

このため、農林水産省では、年間の玄米仕入量5,000^ト以上の全国出荷団体等を対象に、指標となる各産地の上位2～3銘柄（令和5年産米：118産地品種銘柄）について、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

1 相対取引価格・数量

農林水産省(農産)HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1)年産別の相対取引価格
- (2)相対取引価格・数量(令和4年産米、産地品種銘柄別、令和5年8月分)(速報)
相対取引価格・数量(令和5年産米、産地品種銘柄別、令和5年9月分)(速報)
- (3)相対取引価格(月別・年産平均価格)(令和4・5年産米、産地品種銘柄別)(速報)

価格-1

価格-2

Excel

価格-4

Excel

価格-6

Excel

価格-8

2 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和5年9月分)

米穀安定供給確保支援機構HP

<https://www.komenet.jp/>

3 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の播種が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、仕入（集荷）計画数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを播種前に契約し、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

事前契約の取組状況

- (1)近年の事前契約(播種前契約)数量の推移(令和3年産～令和5年産)
- (2)令和4・5年産米の産地別事前契約(播種前契約)の取組状況(速報)

特集-9

特集-10

Excel

1 令和4年産米の産地別契約・販売状況

(累計、うるち米、令和5年8月末現在)(速報)

契約-1

Excel

2 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果(令和5年産)

農林水産省(農産)HP

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kaiire/index.html>

契約-4

4 消費の動向

- 1 米の消費動向(米穀機構による調査)
米穀安定供給確保支援機構HP <https://www.komenet.jp/>
- 2 購入数量・支出金額の推移(家計調査)
総務省統計局HP <https://www.stat.go.jp/data/index.html>
- 3 消費者物価指数の推移
- 4 小売物価統計の推移
- 5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向(速報)
- 6 小売価格の推移(POSデータ)

消費-1

消費-4

消費-6

消費-7

消費-8

消費-9

5 輸出入の動向

- 1 コメ・コメ加工品の輸出実績
 - (1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移
 - (2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移
 - (3) コメの輸出数量の2022年の主な増加要因
 - (4) 米菓の輸出数量及び金額の推移
 - (5) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移
 - (6) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移
 - (7) 米粉の輸出数量及び金額の推移
 - (8) 米粉麺等の輸出数量及び金額の推移
- 2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について
- 3 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別)
農林水産省(農産)HP <https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html>
- 4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果(令和5年度)
- 5 SBS輸入米の見積合せ結果(令和5年度)
- 6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果(令和5年度)

輸出入-1

輸出入-2

輸出入-3

輸出入-4

輸出入-5

輸出入-6

輸出入-7

輸出入-8

輸出入-9

輸出入-10

輸出入-11

輸出入-12

輸出入-13

6 主食用米以外の情報

- 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況
 - (1) 加工用米の生産量
 - (2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移
 - (3) 令和4年産 都道府県別の生産状況
 - (4) 加工用米及び新規需要米における多収性品種
 - (5) 新規需要米における米粉用向け専用品種
- 2 米加工品の状況
 - (1) 主な米加工品の生産状況
 - (2) 令和2米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計)
 - (3) 加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移
- 3 酒造好適米の需給状況
 - (1) 日本酒の出荷状況
 - (2) 日本酒原料米の使用状況
 - (3) 酒造好適米の生産量
 - (4) 酒造好適米の需要量

主食外-1

主食外-1

主食外-2

主食外-3

主食外-3

主食外-4

主食外-5

主食外-6

主食外-7

主食外-7

主食外-8

主食外-8

「米に関するマンスリーレポート」では、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直しました。
また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載するとともに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご活用ください。

作物統計調査

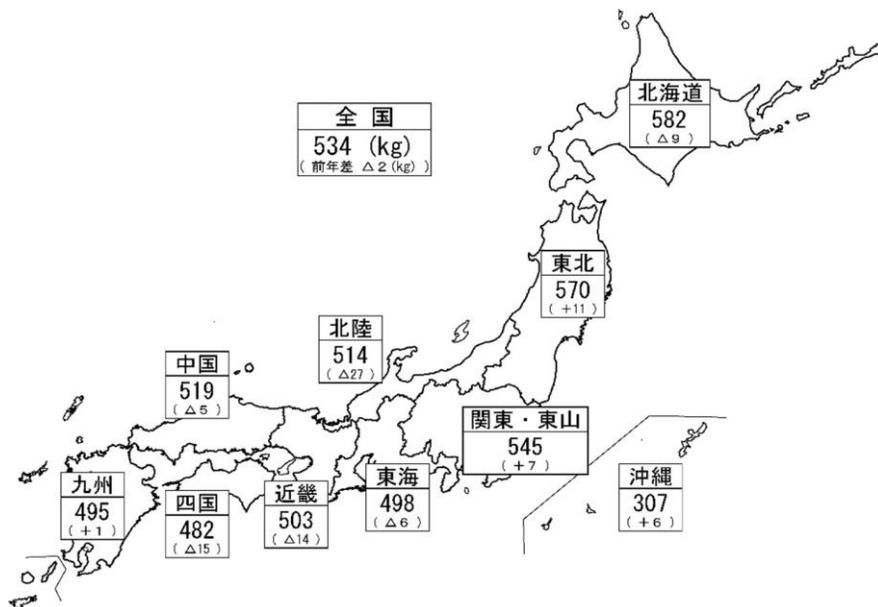
令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

— 全国の10a当たり予想収量は534kgの見込み —

【調査結果の概要】

- 1 令和5年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は153万1,000ha（前年産に比べ1万4,000ha減少）と見込まれる。うち主食用作付面積は124万2,000ha（前年産に比べ9,000ha減少）と見込まれる。
- 2 9月25日現在における全国の10a当たり予想収量は534kgと見込まれる。また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は100と見込まれる。
これは、田植期以降、全国的に5月下旬から6月上旬にかけて日照不足で推移したものの、その後おおむね高温、多照で推移し天候に恵まれた地域がある一方で、6月から7月にかけての梅雨前線等による大雨や断続的な日照不足、7月から8月にかけての記録的な高温や少雨の影響が見込まれる地域があるためである。
- 3 主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は662万4,000t（前年産に比べ7万7,000t減少）と見込まれる。

図1 全国農業地域別 10a当たり予想収量(9月25日現在)
(1.70mmのふるい目幅ベース)



- 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日現在）を除いた面積である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 予想収穫量調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

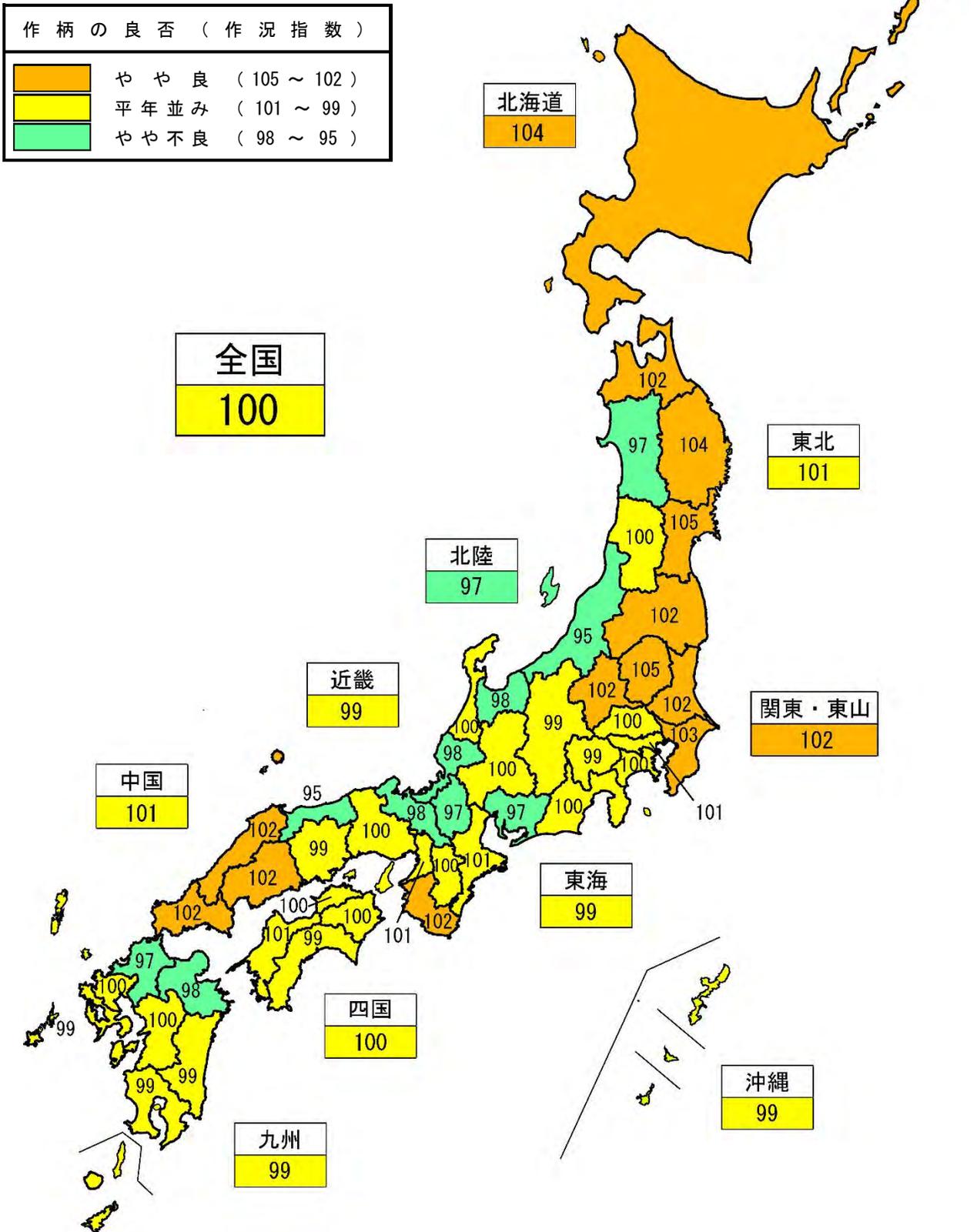
○ 本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y3 】

表 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量(全国農業地域別)

全国農業地域	作付面積 (青刈り面積を含む。)			10 a 当たり予想収量			主食用 作付面積 ②	予想収穫量 (主食用) ③=①×②
	実 数	前年産との比較		実 数 ①	平年との比較	前年産との比較		
		対 差	対 比					
	ha	ha	%	kg	kg	kg	ha	t
全 国	1,531,000	△ 14,000	99	534	△ 2	△ 2	1,242,000	6,624,000
北 海 道	101,700	200	100	582	21	△ 9	82,200	478,400
東 北	403,200	△ 2,600	99	570	2	11	309,200	1,761,000
北 陸	208,300	△ 1,600	99	514	△ 26	△ 27	174,000	895,000
関 東・東 山	289,500	△ 2,100	99	545	6	7	227,500	1,242,000
東 海	96,900	△ 1,100	99	498	△ 4	△ 6	84,300	419,600
近 畿	99,300	△ 1,600	98	503	△ 5	△ 14	91,200	457,900
中 国	101,700	△ 1,800	98	519	1	△ 5	90,900	472,300
四 国	46,900	△ 1,100	98	482	0	△ 15	42,700	205,500
九 州	183,200	△ 2,300	99	495	△ 6	1	139,500	690,900
沖 縄	602	△ 50	92	307	△ 2	6	545	1,670

- 注：1 10 a 当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 予想収穫量(主食用)については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 3 10a 当たり予想収量の平年との比較は、10 a 当たり平年収量との比較である。
 4 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10 a 当たり予想収量及び予想収穫量(主食用)の算出は、第一期稲の10 a 当たり収量と第二期稲の10 a 当たり平年収量の加重平均を用いた。

図2 全国農業地域・都道府県別作況指数(9月25日現在)
(農家等が使用しているふるい目幅ベース)



注：1 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出は、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

1 令和5年産水稲の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

全 国 都道府県	作付面積（青刈り面積を含む。）			10a当たり 予想収量 ①	農家等が使用している ふるい目幅で選別			
	実 数	前年産との比較			最も多い 使用割合 の 目 幅 ②	10a 当たり 予想収量 ③	10a 当たり 平年収量 ④	作 況 指 数 ⑤=③/④
		対 差	対 比					
	ha	ha	%	kg	mm	kg	kg	
全 国 (1)	1,531,000	△ 14,000	99	534	...	514	512	100
北 海 道 (2)	101,700	200	100	582	1.90	559	535	104
青 森 (3)	49,300	△ 200	100	614	1.90	587	574	102
岩 手 (4)	53,300	△ 900	98	552	1.90	534	514	104
宮 城 (5)	73,500	△ 300	100	568	1.90	535	511	105
秋 田 (6)	88,500	△ 400	100	552	1.90	524	542	97
山 形 (7)	67,400	△ 500	99	589	1.90	564	566	100
福 島 (8)	71,300	△ 200	100	561	1.85	542	532	102
茨 城 (9)	74,300	△ 700	99	532	1.85	515	506	102
栃 木 (10)	68,600	0	100	556	1.85	540	515	105
群 馬 (11)	16,200	△ 300	98	506	1.80	491	482	102
埼 玉 (12)	32,200	△ 300	99	489	1.80	478	479	100
千 葉 (13)	59,200	△ 400	99	557	1.80	550	533	103
東 京 (14)	111	△ 4	97	419	1.80	409	404	101
神 奈 川 (15)	2,870	△ 20	99	496	1.80	474	475	100
新 潟 (16)	120,400	△ 700	99	512	1.85	503	527	95
富 山 (17)	37,800	△ 300	99	528	1.90	511	519	98
石 川 (18)	24,600	△ 300	99	518	1.85	508	509	100
福 井 (19)	25,500	△ 200	99	500	1.90	476	484	98
山 梨 (20)	4,790	△ 30	99	542	1.80	527	532	99
長 野 (21)	31,300	△ 300	99	613	1.85	594	599	99
岐 阜 (22)	24,500	△ 100	100	486	1.80	476	475	100
静 岡 (23)	16,500	△ 100	99	521	1.80	510	511	100
愛 知 (24)	28,000	△ 500	98	490	1.85	472	489	97
三 重 (25)	28,000	△ 300	99	501	1.85	483	478	101
滋 賀 (26)	30,600	△ 800	97	504	1.90	470	483	97
京 都 (27)	14,100	△ 200	99	498	1.85	482	492	98
大 阪 (28)	4,450	△ 100	98	502	1.80	485	478	101
兵 庫 (29)	36,000	△ 200	99	500	1.85	477	477	100
奈 良 (30)	8,350	△ 160	98	515	1.80	502	500	100
和 歌 山 (31)	5,790	△ 200	97	505	1.80	497	485	102
鳥 取 (32)	13,100	△ 200	98	489	1.85	471	495	95
島 根 (33)	17,700	△ 200	99	523	1.90	494	482	102
岡 山 (34)	30,100	△ 400	99	522	1.85	497	500	99
広 島 (35)	22,200	△ 600	97	533	1.85	520	508	102
山 口 (36)	18,600	△ 500	97	514	1.85	489	480	102
徳 島 (37)	11,000	△ 200	98	470	1.80	460	462	100
早期栽培 (38)	4,400	△ 30	99	450	1.80	439	453	97
普通栽培 (39)	6,610	△ 110	98	482	1.80	472	467	101
香 川 (40)	10,700	△ 500	96	497	1.80	480	479	100
愛 媛 (41)	13,400	△ 100	99	503	1.85	473	468	101
高 知 (42)	11,800	△ 300	98	454	1.80	442	446	99
早期栽培 (43)	6,870	△ 150	98	485	1.80	475	471	101
普通栽培 (44)	4,900	△ 200	96	415	1.80	401	413	97
福 岡 (45)	37,400	△ 300	99	483	1.85	444	456	97
佐 賀 (46)	25,300	△ 300	99	518	1.85	486	487	100
長 崎 (47)	11,700	△ 200	98	480	1.80	461	466	99
熊 本 (48)	40,800	△ 700	98	512	1.85	478	479	100
大 分 (49)	23,000	△ 300	99	489	1.80	466	475	98
宮 崎 (50)	22,800	△ 200	99	490	1.80	476	482	99
早期栽培 (51)	7,980	60	101	487	1.80	479	470	102
普通栽培 (52)	14,900	△ 200	99	492	1.80	474	489	97
鹿 児 島 (53)	22,200	△ 300	99	480	1.80	466	470	99
早期栽培 (54)	6,460	△ 80	99	469	1.80	459	449	102
普通栽培 (55)	15,700	△ 300	98	483	1.80	468	477	98
沖 縄 (56)	602	△ 50	92	307	1.80	300	302	99
第一期稲 (57)	451	△ 20	96	350	1.80	345	355	97
第二期稲 (58)	151	△ 30	83	...	1.80	...	155	...

- 注：1 ①10a当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 ③10a当たり予想収量、④10a当たり平年収量及び⑤作況指数については、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
 3 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量（主食用）の算出は、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

全 国 都道府県	主食用作付面積 ⑥	予想収穫量（主食用） ⑦=①×⑥	作柄概況（平年比較）			
			穂数の多少	1 穂 当 た り の も み 数 の 多 少	全 の も み 数 の 多 少	登熟の良否
全 国 (1)	1,242,000 ^{ha}	6,624,000 ^t	…	…	…	…
北 海 道 (2)	82,200	478,400	やや多い	平年並み	やや多い	やや良
青 森 (3)	33,800	207,500	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良
岩 手 (4)	42,800	236,300	少 ない	多 い	やや少ない	良
宮 城 (5)	57,200	324,900	やや少ない	多 い	やや多い	やや良
秋 田 (6)	69,900	385,800	少 ない	やや多い	やや少ない	やや良
山 形 (7)	52,400	308,600	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良
福 島 (8)	53,100	297,900	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
茨 城 (9)	57,800	307,500	少 ない	やや多い	やや少ない	やや良
栃 木 (10)	47,200	262,400	やや少ない	平年並み	平年並み	良
群 馬 (11)	12,400	62,700	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
埼 玉 (12)	27,500	134,500	平年並み	平年並み	やや少ない	やや良
千 葉 (13)	45,800	255,100	少 ない	やや多い	やや少ない	良
東 京 (14)	111	465	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
神 奈 川 (15)	2,850	14,100	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み
新 潟 (16)	100,600	515,100	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良
富 山 (17)	31,200	164,700	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良
石 川 (18)	20,800	107,700	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
福 井 (19)	21,500	107,500	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良
山 梨 (20)	4,660	25,300	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良
長 野 (21)	29,300	179,600	少 ない	やや多い	やや少ない	やや良
岐 阜 (22)	19,700	95,700	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
静 岡 (23)	15,000	78,200	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
愛 知 (24)	24,700	121,000	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み
三 重 (25)	24,900	124,700	やや少ない	多 い	やや多い	平年並み
滋 賀 (26)	27,000	136,100	やや少ない	やや多い	やや多い	やや不良
京 都 (27)	13,200	65,700	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良
大 阪 (28)	4,430	22,200	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
兵 庫 (29)	32,500	162,500	少 ない	やや多い	やや少ない	やや良
奈 良 (30)	8,200	42,200	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
和 歌 山 (31)	5,780	29,200	少 ない	やや多い	やや少ない	やや良
鳥 取 (32)	11,700	57,200	少 ない	やや多い	少 ない	やや良
島 根 (33)	15,900	83,200	やや少ない	多 い	平年並み	やや良
岡 山 (34)	26,900	140,400	少 ない	多 い	やや少ない	やや良
広 島 (35)	20,500	109,300	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
山 口 (36)	16,000	82,200	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
徳 島 (37)	9,480	44,600	…	…	…	…
早期栽培 (38)	…	…	少 ない	やや多い	やや少ない	やや良
普通栽培 (39)	…	…	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
香 川 (40)	10,100	50,200	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
愛 媛 (41)	12,800	64,400	やや少ない	平年並み	少 ない	良
高 知 (42)	10,200	46,300	…	…	…	…
早期栽培 (43)	…	…	やや多い	多 い	多 い	不 良
普通栽培 (44)	…	…	やや少ない	やや少ない	やや少ない	平年並み
福 岡 (45)	32,300	156,000	少 ない	平年並み	少 ない	やや良
佐 賀 (46)	21,700	112,400	少 ない	平年並み	やや少ない	やや良
長 崎 (47)	10,000	48,000	少 ない	多 い	やや少ない	やや良
熊 本 (48)	28,900	148,000	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
大 分 (49)	18,100	88,500	少 ない	やや多い	少 ない	やや良
宮 崎 (50)	12,700	62,200	…	…	…	…
早期栽培 (51)	…	…	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
普通栽培 (52)	…	…	平年並み	少 ない	少 ない	やや良
鹿 児 島 (53)	15,800	75,800	…	…	…	…
早期栽培 (54)	…	…	やや少ない	やや多い	やや少ない	良
普通栽培 (55)	…	…	少 ない	平年並み	少 ない	やや良
沖 縄 (56)	545	1,670	…	…	…	…
第一期稲 (57)	…	…	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
第二期稲 (58)	…	…	…	…	…	…

4 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日現在）を除いた面積である。

5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、作期別の備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

6 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県における県平均の「穂数の多少」以降の指標は、調査を作期別に行っており県平均を取りまとめているため、「…」で示している。

2 令和5年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合(9月25日現在)

都道府県	出穂期						刈取済面積割合
	始期	最盛期	終期	最盛期の比較			
				対平年差	対前年差		
月 日	月 日	月 日	%		
全 国	61	
北海道	7. 20	7. 24	7. 31	6日早	4日早	75	
青森	7. 27	7. 30	8. 3	5日早	4日早	53	
岩手	7. 28	8. 1	8. 6	3日早	4日早	46	
宮城	7. 26	7. 30	8. 5	3日早	4日早	60	
秋田	7. 26	8. 1	8. 8	2日早	2日早	48	
山形	7. 30	8. 3	8. 11	1日早	2日早	56	
福島	7. 29	8. 5	8. 13	3日早	5日早	16	
茨城	7. 16	7. 26	8. 7	4日早	2日早	96	
栃木	7. 22	7. 27	8. 16	4日早	4日早	70	
群馬	8. 3	8. 17	8. 30	3日早	2日早	11	
埼玉	7. 19	8. 6	8. 27	4日早	2日早	56	
千葉	7. 8	7. 18	7. 31	4日早	2日早	99	
東京都	8. 1	8. 10	8. 22	3日早	3日早	27	
神奈川県	8. 1	8. 8	8. 17	3日早	2日早	39	
新潟	7. 22	8. 3	8. 12	1日早	1日早	89	
富山	7. 13	7. 30	8. 8	3日早	2日早	95	
石川	7. 14	7. 25	8. 4	3日早	1日早	94	
福井	7. 9	7. 30	8. 10	2日早	並み	95	
山梨	7. 30	8. 4	8. 26	5日早	2日早	42	
長野	7. 27	8. 3	8. 13	4日早	2日早	59	
岐阜	7. 20	8. 19	8. 31	2日早	1日早	47	
静岡	7. 15	8. 6	8. 28	1日早	1日遅	63	
愛知	7. 22	8. 18	9. 5	1日早	並み	39	
三重	7. 13	7. 21	8. 9	2日早	1日早	97	
滋賀	7. 22	7. 29	8. 14	2日早	並み	89	
京都	7. 19	7. 28	8. 18	4日早	3日早	60	
大阪	8. 2	8. 22	8. 28	1日早	並み	21	
兵庫	7. 26	8. 8	8. 29	2日早	1日早	51	
奈良	7. 31	8. 23	8. 28	1日早	並み	25	
和歌山	7. 19	8. 4	8. 22	2日早	1日早	78	
鳥取	7. 25	8. 5	8. 22	3日早	1日早	49	
島根	7. 19	7. 29	8. 19	2日早	並み	58	
岡山	7. 30	8. 20	9. 4	1日早	並み	33	
広島	7. 23	8. 4	8. 23	3日早	並み	62	
山口	7. 26	8. 8	8. 28	2日早	1日遅	61	
徳島 早期栽培	7. 6	7. 15	7. 23	並み	1日遅	100	
普通栽培	7. 16	7. 31	8. 28	並み	2日遅	84	
香川	7. 21	8. 22	9. 2	並み	1日遅	41	
愛媛	7. 17	8. 13	9. 2	1日早	1日遅	56	
高知 早期栽培	6. 21	7. 1	7. 15	1日早	並み	100	
普通栽培	8. 11	8. 17	9. 2	1日早	1日遅	25	
福岡	7. 31	8. 19	9. 1	3日早	1日早	40	
佐賀	8. 2	8. 27	9. 9	2日早	並み	25	
長崎	7. 16	8. 24	9. 1	1日早	1日遅	19	
熊本	7. 13	8. 18	9. 4	4日早	2日早	15	
大分	7. 30	8. 23	9. 3	3日早	2日早	17	
宮崎 早期栽培	6. 18	6. 24	7. 1	並み	1日遅	100	
普通栽培	8. 16	8. 21	8. 31	3日早	並み	4	
鹿児島 早期栽培	6. 17	6. 25	7. 10	並み	2日遅	100	
普通栽培	8. 17	8. 23	9. 6	3日早	並み	0	
沖縄 第一期稲	5. 7	5. 16	6. 5	4日早	3日早	100	

注：出穂期の始期、最盛期、終期とは、出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。

令和5年産の水田における作付状況 (令和5年9月15日時点)

- ・ 全国の主食用米の作付面積については、前年実績（125.1万ha）から0.9万ha減少（▲0.7%）し、124.2万haとなった。
- ・ また、戦略作物等の作付面積については、新市場開拓用米（輸出用米等）、WCS用稲（稲発酵粗飼料用稲）が前年より増加した。

【主食用米及び戦略作物等の作付状況】

	主食用米	戦略作物等								備蓄米	
		加工用米	新規需要米				麦	大豆	その他		戦略作物等 合計面積
			新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 (稲発酵 粗飼料用稲)					
H29年産	137.0	5.2	0.1	0.5	9.2	4.3	9.8	9.0	10.2	48.3	3.5
H30年産	138.6	5.1	0.4	0.5	8.0	4.3	9.7	8.8	10.2	47.0	2.2
R元年産	137.9	4.7	0.4	0.5	7.3	4.2	9.7	8.6	10.2	45.6	3.3
R2年産	136.6	4.5	0.6	0.6	7.1	4.3	9.8	8.5	10.2	45.6	3.7
R3年産	130.3	4.8	0.7	0.8	11.6	4.4	10.2	8.5	10.2	51.2	3.6
R4年産	125.1	5.0	0.7	0.8	14.2	4.8	10.6	8.9	9.9	54.9	3.6
R5年産	124.2	4.9	0.9	0.8	13.4	5.3	10.3	8.7	7.9	52.2	3.5

※R5年産の麦、大豆及びその他については畑地化面積を含まない。

注1：加工用米及び新規需要米（米粉用米、飼料用米、WCS用稲、新市場開拓用米）は取組計画の認定面積。

注2：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。

注3：麦、大豆、その他（飼料作物、そば、なたね）は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

令和5年産の水田における都道府県別の作付状況 (令和5年9月15日時点)

(ha)

都道府県	主食用米			戦略作物等										備蓄米	
	①	【参考】		加工用米	新規需要米					麦	大豆	飼料作物	そば		なたね
		前年産 (4年産) ②	増減 ①-②		新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 稲発酵 粗飼料用稲	その他						
全国計	124.2万	125.1万	▲ 0.9万	48,797	9,091	7,587	133,925	53,055	71	103,449	87,398	53,224	24,708	643	35,359
北海道	82,200	82,500	▲ 300	6,920	1,974	143	6,788	1,594	-	33,236	17,609	10,436	6,038	408	2,089
青森	33,800	33,900	▲ 100	787	321	12	7,930	788	-	550	4,769	3,260	1,010	22	5,661
岩手	42,800	43,700	▲ 900	1,283	417	30	5,739	2,396	1	3,263	4,018	5,999	633	16	663
宮城	57,200	57,000	200	626	894	103	9,801	2,757	1	2,185	9,472	5,162	434	0	2,144
秋田	69,900	69,100	800	8,264	500	329	4,265	1,235	2	181	8,683	1,933	3,045	0	3,955
山形	52,400	52,700	▲ 300	4,516	440	112	5,138	1,239	4	72	4,645	2,359	4,274	1	3,484
福島	53,100	51,900	1,200	448	142	12	11,722	1,079	1	333	907	1,598	1,500	84	4,753
茨城	57,800	58,300	▲ 500	947	762	55	13,886	653	3	4,013	770	491	311	1	217
栃木	47,200	46,100	1,100	1,513	70	1,418	15,069	2,177	4	7,278	414	2,907	1,196	6	1,149
群馬	12,400	12,400	0	1,389	0	168	1,661	621	-	2,184	118	172	32	0	-
埼玉	27,500	27,400	100	144	52	769	3,605	124	-	1,877	381	154	50	6	43
千葉	45,800	45,500	300	1,672	35	135	10,154	1,316	-	440	262	312	2	1	122
東京	111	115	▲ 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2,850	2,880	▲ 30	-	-	-	13	2	-	4	6	3	0	-	-
新潟	100,600	99,900	700	7,093	1,586	1,784	4,032	533	1	189	3,995	294	834	-	4,559
富山	31,200	31,300	▲ 100	1,220	342	266	2,096	480	-	2,834	4,165	321	250	22	2,202
石川	20,800	20,700	100	481	65	371	1,131	127	-	1,198	981	27	141	-	1,629
福井	21,500	21,600	▲ 100	322	132	213	1,976	160	-	5,210	76	43	464	-	1,218
山梨	4,660	4,690	▲ 30	62	-	29	21	18	-	62	99	23	103	0	-
長野	29,300	29,800	▲ 500	733	245	24	429	265	-	2,542	670	587	2,192	0	257
岐阜	19,700	20,000	▲ 300	741	78	65	3,496	303	-	3,689	359	521	259	6	94
静岡	15,000	15,000	0	105	1	8	1,011	330	-	244	38	40	26	-	4
愛知	24,700	25,200	▲ 500	573	44	278	2,040	182	-	5,646	70	133	7	11	176
三重	24,900	25,200	▲ 300	168	54	95	2,426	303	-	7,050	188	169	19	9	53
滋賀	27,000	27,700	▲ 700	608	205	58	2,033	310	-	8,222	591	158	110	11	282
京都	13,200	13,400	▲ 200	551	25	10	133	158	-	290	266	47	134	-	-
大阪	4,430	4,540	▲ 110	0	-	5	6	4	-	2	8	1	-	-	-
兵庫	32,500	32,800	▲ 300	674	185	48	819	972	6	1,931	1,655	783	117	12	-
奈良	8,200	8,350	▲ 150	19	-	36	50	43	-	68	22	5	1	0	-
和歌山	5,780	5,980	▲ 200	-	-	1	3	4	-	4	11	3	2	-	-
鳥取	11,700	12,000	▲ 300	25	33	0	821	392	0	68	619	845	330	1	79
島根	15,900	16,100	▲ 200	252	2	7	804	745	1	281	614	457	299	4	26
岡山	26,900	27,100	▲ 200	295	189	120	1,824	475	-	1,269	1,114	902	128	1	152
広島	20,500	21,100	▲ 600	351	44	96	443	708	0	326	228	928	252	0	10
山口	16,000	16,600	▲ 600	976	86	43	1,108	410	0	711	816	864	43	1	-
徳島	9,480	9,640	▲ 160	20	40	11	1,007	247	-	55	7	99	2	-	198
香川	10,100	10,800	▲ 700	48	28	7	195	269	-	1,322	39	210	9	1	-
愛媛	12,800	13,000	▲ 200	34	-	6	344	217	-	430	313	241	2	-	-
高知	10,200	10,600	▲ 400	84	-	18	1,135	321	-	5	54	110	0	-	2
福岡	32,300	32,800	▲ 500	224	12	322	2,475	2,068	-	1,138	7,753	448	43	0	11
佐賀	21,700	22,300	▲ 600	406	8	19	829	2,246	-	1,411	6,235	428	12	2	42
長崎	10,000	10,400	▲ 400	6	10	4	117	1,549	1	76	298	1,825	34	2	-
熊本	28,900	30,200	▲ 1,300	672	41	309	1,646	9,167	24	793	2,236	1,891	178	12	66
大分	18,100	18,800	▲ 700	148	2	13	1,932	2,758	-	678	1,310	935	89	2	19
宮崎	12,700	13,400	▲ 700	1,978	22	22	887	7,207	23	17	206	3,105	62	-	-
鹿児島	15,800	16,600	▲ 800	1,389	1	12	880	4,081	1	75	310	1,975	40	2	-
沖縄	545	604	▲ 59	30	-	2	3	22	-	-	-	20	-	-	-

※R5年産の麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねについては畑地化面積を含まない。

注1：主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米面積。

注2：加工用米及び新規需要米は取組計画の認定面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。

注3：麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

令和5年産米の事前契約（播種前契約）の取組状況について

米の事前契約について、農林水産省では需要に応じた生産・販売に繋げていく観点から、「米取引の事前契約研究会」での議論等も踏まえ、「収穫前契約から播種前契約への転換」、「実需と結びついた契約の拡大」を推進しています。

これに伴い、今後の事前契約の取組状況については、従来の「収穫前契約」に代えて、「播種前契約」に関する取組状況を掲載することとします。

【米取引の事前契約研究会ページ】

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/jizenn.html>

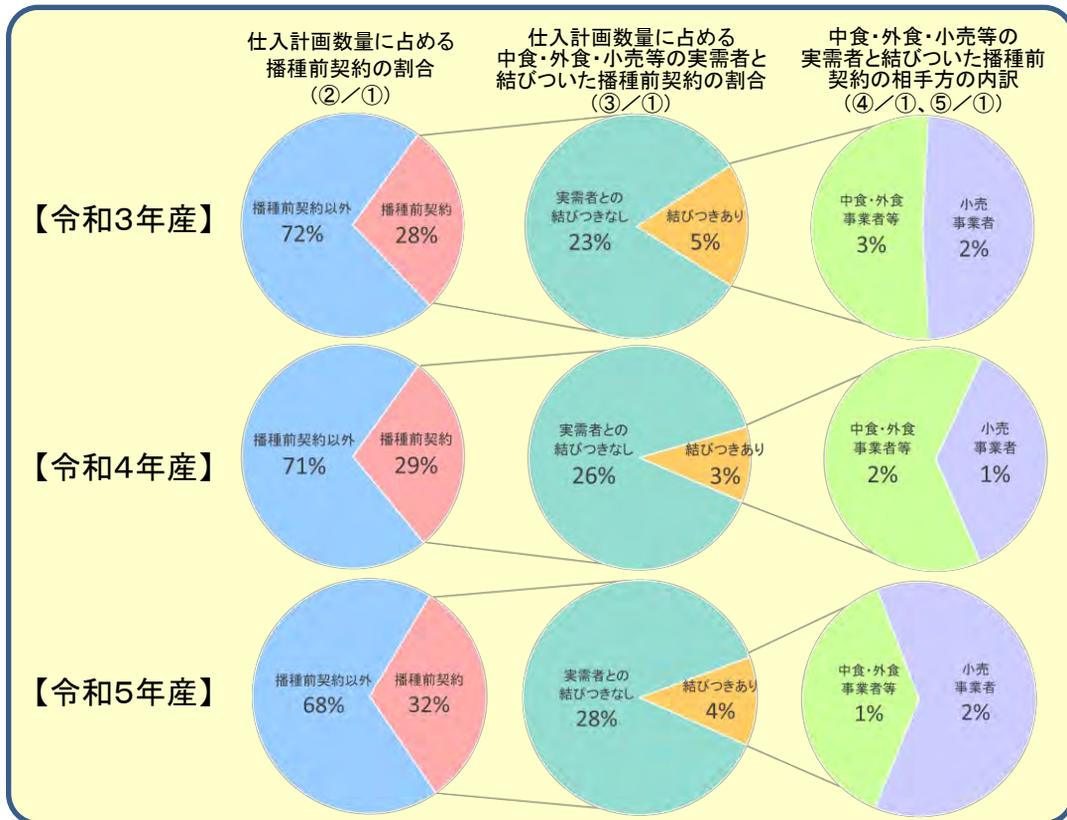
(1) 近年の事前契約（播種前契約）数量の推移（令和3年産～令和5年産）

- 事前契約（播種前契約）の取組状況について、一定規模以上の集出荷業者を対象に調査を実施。
- 5年産の仕入計画数量に占める播種前契約（複数年契約を含む）の割合は32%。5年産の仕入計画数量に占める実需者と結びついた播種前契約の割合は4%。

○ 近年の播種前契約の状況

(単位:千トン)

年産	仕入計画数量 ①	播種前契約数量 ②	うち実需者との結びつき		
			計 ③	中食・外食等 ④	小売 ⑤
3年産	3,699	1,026 (28%)	184 (5%)	95 (3%)	89 (2%)
4年産	3,451	1,001 (29%)	108 (3%)	69 (2%)	40 (1%)
5年産	3,504	1,115 (32%)	127 (4%)	42 (1%)	85 (2%)



注：1 調査対象は、年間取扱数量500トン以上の集出荷業者。
 2 仕入計画数量は、卸売業者や小売事業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入(集荷)計画数量(見込含む)として調査。
 3 播種前契約数量は、生産年の3月末までに締結した事前契約(確認書等により販売数量が決定しているもの)の数量をいう。
 4 中食・外食等には、小売以外の実需者(学校給食や事業所給食など)との契約を含む。
 5 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 令和4・5年産米の産地別事前契約（播種前契約）の取組状況（速報）

(単位：千玄米トン)

	4年産				5年産			
	仕入(集荷) 計画数量 ①	うち事前(播種前)契約		うち 複数年契約	仕入(集荷) 計画数量 ④	うち事前(播種前)契約		うち複数年契約
		契約数量 ②	契約比率 ②/①	契約数量 ③		契約数量 (前年差) ⑤	契約比率 (前年差) ⑤/④	契約数量 (前年差) ⑥
北海道	345	160	46%	157	369	164 (+4)	44% (▲2%)	162 (+5)
青森	154	14	9%	5	171	36 (+21)	21% (+12%)	29 (+24)
岩手	137	52	38%	50	157	65 (+13)	41% (+4%)	65 (+15)
宮城	192	106	55%	106	184	143 (+37)	78% (+23%)	93 (▲12)
秋田	276	134	48%	113	299	142 (+8)	47% (▲1%)	109 (▲4)
山形	239	46	19%	39	242	60 (+15)	25% (+6%)	45 (+6)
福島	171	43	25%	41	172	31 (▲12)	18% (▲7%)	31 (▲10)
茨城	151	5	3%	1	131	33 (+28)	25% (+22%)	3 (+2)
栃木	129	64	49%	61	136	72 (+8)	53% (+3%)	59 (▲2)
群馬	25	5	20%	1	27	7 (+2)	24% (+4%)	-
埼玉	42	8	18%	1	53	8 (+0)	15% (▲3%)	1 (+0)
千葉	108	10	9%	9	111	15 (+5)	13% (+4%)	8 (▲2)
東京	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	3	-	-	-	3	-	-	-
山梨	6	-	-	-	5	-	-	-
長野	87	38	44%	34	87	38 (▲1)	43% (▲1%)	37 (+3)
静岡	12	-	-	-	13	-	-	-
新潟	366	113	31%	84	369	109 (▲4)	30% (▲1%)	73 (▲11)
富山	97	1	1%	1	100	-	-	-
石川	58	8	13%	-	65	11 (+4)	17% (+4%)	-
福井	55	8	14%	8	51	7 (▲1)	13% (▲1%)	5 (▲3)
岐阜	33	7	21%	5	18	11 (+4)	63% (+42%)	5 (▲1)
愛知	44	3	7%	2	43	2 (▲1)	4% (▲3%)	1 (▲1)
三重	46	32	69%	-	45	30 (▲2)	67% (▲2%)	-
滋賀	66	38	58%	8	46	28 (▲10)	61% (+4%)	5 (▲4)
京都	15	6	42%	1	18	5 (▲1)	28% (▲14%)	1 (+0)
大阪	3	-	-	-	3	-	-	-
兵庫	60	18	30%	-	60	17 (▲1)	29% (▲1%)	-
奈良	11	-	-	-	10	-	-	-
和歌山	2	0	1%	-	2	-	-	-
鳥取	25	16	66%	-	26	2 (▲14)	8% (▲58%)	-
島根	35	-	-	-	33	-	-	-
岡山	55	6	10%	-	39	-	-	-
広島	35	0	1%	-	36	22 (+22)	61% (+60%)	-
山口	38	0	1%	0	41	19 (+19)	47% (+46%)	0 (▲0)
徳島	16	2	14%	-	16	4 (+1)	23% (+9%)	-
香川	20	19	99%	7	20	-	-	-
愛媛	16	-	-	-	16	7	44%	-
高知	10	-	-	-	12	-	-	-
福岡	59	1	2%	-	63	1 (▲0)	2% (▲1%)	-
佐賀	37	28	77%	-	35	14 (▲15)	39% (▲38%)	12
長崎	11	7	64%	-	10	7 (+0)	76% (+12%)	-
熊本	58	-	-	-	57	-	-	-
大分	18	2	10%	0	20	4 (+3)	23% (+13%)	1 (+1)
宮崎	26	-	-	-	26	-	-	-
鹿児島	21	-	-	-	21	-	-	-
沖縄	1	-	-	-	1	-	-	-
全 国	3,451	1,001	29%	736	3,504	1,115 (+114)	32% (+3%)	745 (+8)

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、年間の玄米仕入数量が500トン以上の出荷業者。

2 仕入計画数量は、卸売業者や小売業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入（集荷）計画数量（見込含む）として調査。

3 播種前契約は、生産年の3月末までに締結した事前契約（確認書等により販売数量が決定しているもの。）をいう。

4 複数年契約は、播種前契約のうち、複数年にわたる契約をいう。

5 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

【酒造好適米の全体需給の推計】

農林水産省が本年7月に行った「酒造好適米等の需要量調査」の結果をまとめました。より詳細な調査結果の内容は、下記URLよりご参照ください。

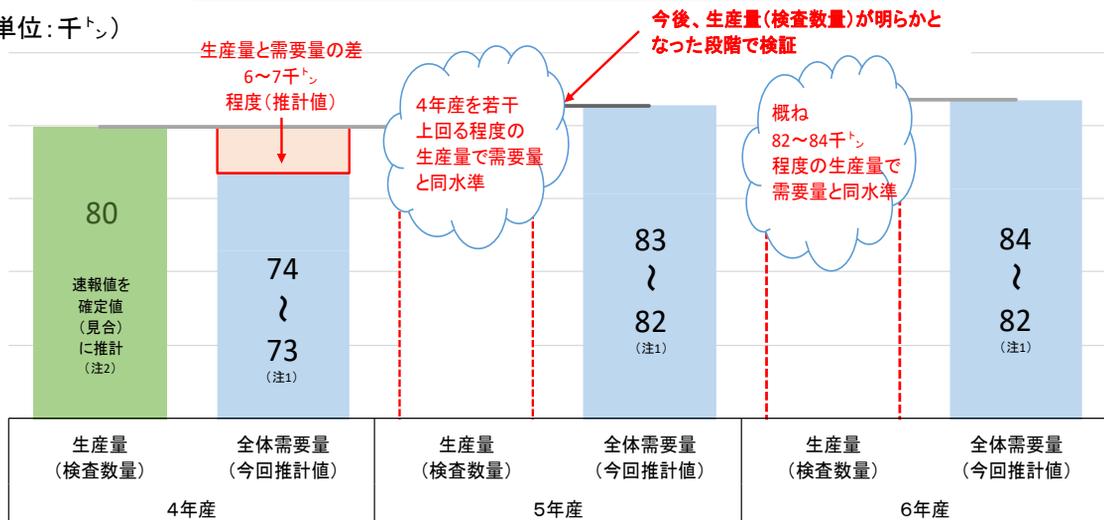
また、令和5年9月28日に「日本酒原料米の安定取引に向けた情報交換会」を開催したところであり、その概要については、同URLに追って掲載します。

【 https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html 】

- ・ **令和4年産**については、全体需要量（推計値）と生産量を比較すると、**生産量が需要量を6～7千ト**程度上回っているものと推計されます。
- ・ **令和5年産**については、全体需要量が令和4年産の生産量の**+3千ト**程度と増加しています。
- ・ **令和6年産**については、全体需要量が82～84千ト程度と見込まれる中、各産地においては、**自らの在庫状況、令和5年産の生産及び需要動向等を踏まえ、需要に応じた生産に取り組むことが重要**です。
- ・ なお、**令和5年産の需給**については、酒造好適米の検査数量（生産量）が概ね明らかとなる**来年2月に検証し、3月号のマンスリーレポートでお知らせ**します。

酒造好適米(醸造用玄米)の全体需給の状況

(単位:千ト)



注1：各年産の全体需要量（今回推計値）は、今回の需要量調査の数量ベース回答率が、令和3年産酒造好適米の全体需要量（66～68千ト）と今回調査の令和3年産の需要量（約57千ト）から約85～86%と推計されるため、各年産の今回調査結果の需要量を当該割合で除することにより算出。

注2：生産量は、農産物検査数量（醸造用玄米）の値。ただし、令和4年産は、令和5年3月31日現在の速報値を直近3カ年の3月31日現在の農産物検査の進捗率により確定値見合いに推計。

酒造好適米の需要に応じた生産に向けて

- ・ 今後とも**日本酒の国内外での円滑な出荷・販売**のためには、原料となる酒造好適米についても**需給均衡を図り、産地と実需者間で安定取引を図っていくことが重要**です。
- ・ 令和6年産の酒造好適米の作付けに当たっては、産地品種銘柄ごとの需要動向等を踏まえ、**需要に応じた生産・販売**を行うほか、**複数年契約の取組の拡大や日本酒の輸出拡大**といった新たな需要動向を踏まえ**生産に取り組むことも重要**です。このため、**今後もさらなる生産者と実需者の相互協力、連携が求められます**。

令和5年度酒造好適米等の需要量調査結果の概要

- ・ 昨年に引き続き、酒造好適米の需要量を把握するため、日本酒の酒造メーカーを対象として本年7月に需要量調査を実施。

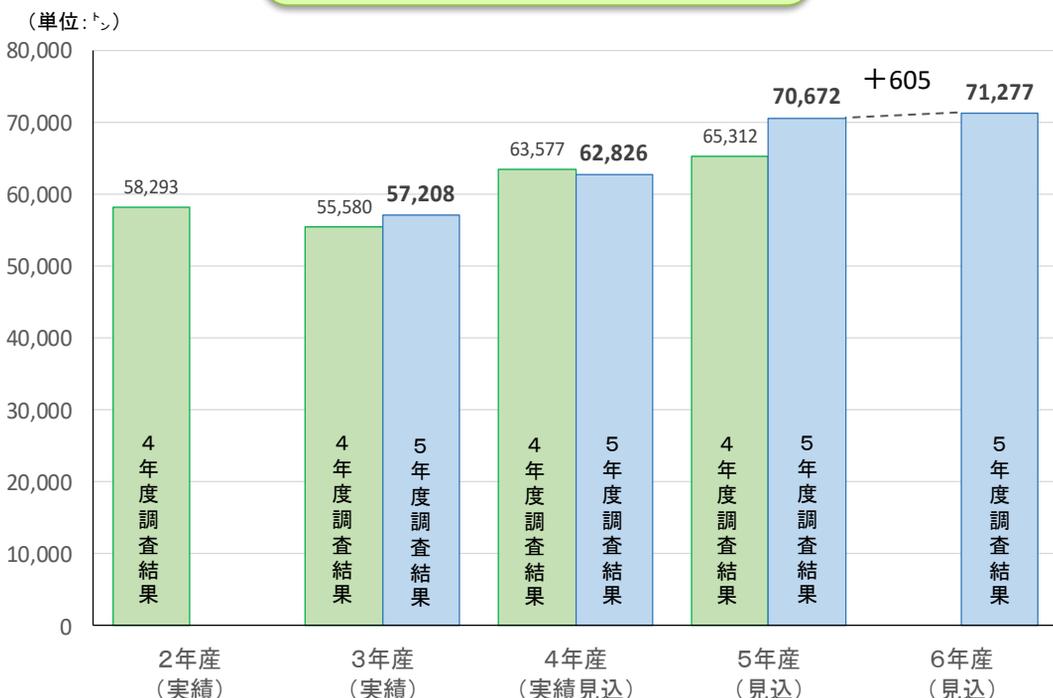
調査の概要

	令和4年度	令和5年度
調査期間	令和4年7月	令和5年7月
調査対象メーカー数	1,389社	1,248社
回答酒造メーカー数	694社	765社
回答率(数量ベース)	82~84%	85~86%

酒造好適米の需要量調査結果

- ・ 今年度の酒造好適米等の需要量調査で回答のあった酒造メーカーの令和6年産酒造好適米の需要見込みは、合計で71千トと令和5年産に比べてやや増加するという結果になりました。
- ・ 令和5年産の需要量は、昨年度の需要量調査においては、令和4年産に比べて+3%でしたが、今年度の需要量調査においては、令和4年産に比べて+12%となっています。
- ・ 令和6年産の生産に当たって、各産地においては、自らの在庫状況、令和5年産の生産及び需要動向等を踏まえ、生産者と実需者が連携し、令和6年産の作付計画に反映する必要があります。

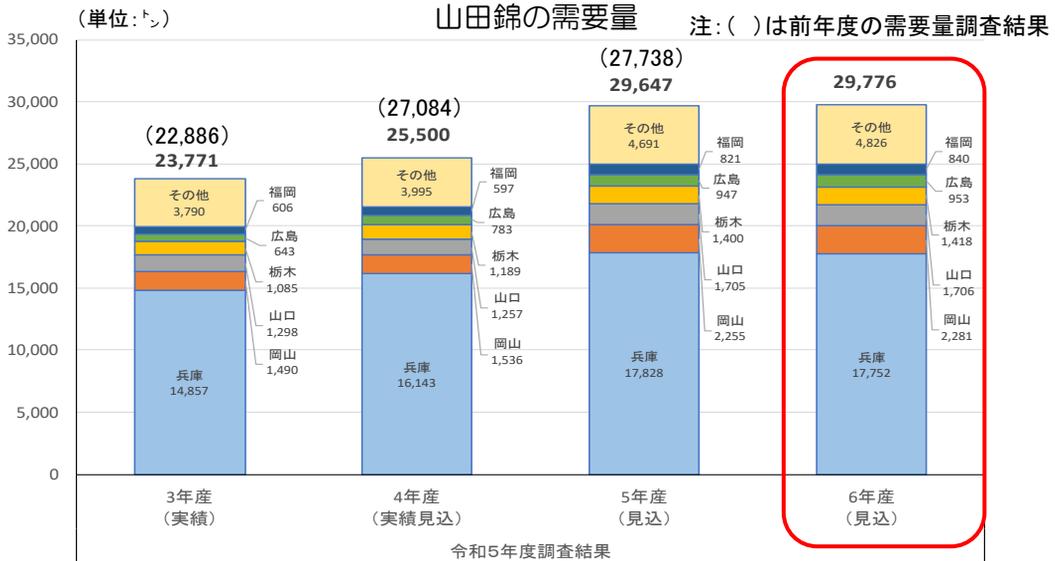
酒造好適米の需要量調査結果



主な酒造好適米の需要量(酒造メーカーからの回答分)

山田錦

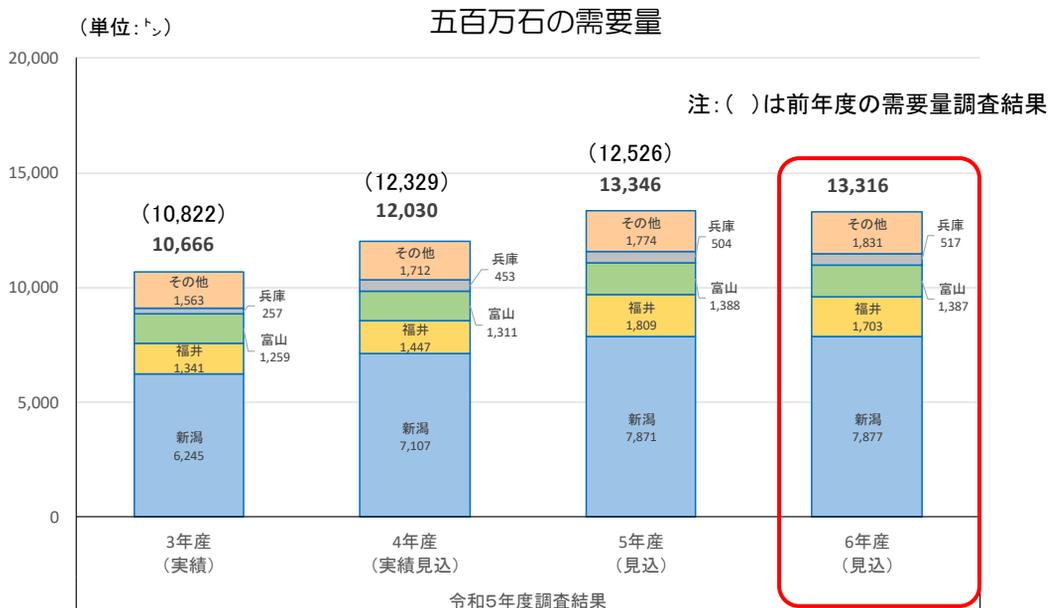
- 令和6年産の山田錦の需要量は、令和5年産に比べて±0%と同程度となっています。
- 令和5年産の山田錦の需要量は、昨年度の需要量調査においては、令和4年産に比べて+2%でしたが、今年度の需要量調査においては、令和4年産に比べて+16%となっています。



【参考】山田錦の生産量(検査数量)
 3年産 27,609 4年産(推計値) 27,948

五百万石

- 令和6年産の五百万石の需要量は、令和5年産に比べて±0%と同程度となっています。
- 令和5年産の五百万石の需要量は、昨年度の需要量調査においては、令和4年産に比べて+2%でしたが、今年度の需要量調査においては、令和4年産に比べて+11%となっています。



【参考】五百万石の生産量(検査数量)
 3年産 13,612 4年産(推計値) 15,271

日本酒の国内出荷状況

- 日本酒の国内出荷量については、近年、減少傾向で推移しているところですが、平成30年以降は減少幅が大きくなり、これまで堅調に推移していた特定名称酒についても減少に転じたところです。
- 令和4年は、日本酒全体としては、前年と同水準で推移しており、一般酒が対前年比▲3%と減少する中、特定名称酒は対前年比+5%と増加しました。また、令和5年1～7月においても、前年と同様の傾向が続いています。

日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	平成	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和	2年	3年	4年	5年	
	10年									元年				(1～7月)	対前年同期比
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	566	555	540	533	495	467	419	404	404	201	98%
特定名称酒	291	221	174	164	167	173	178	179	171	165	142	138	145	74	103%
吟醸酒	34	30	20	21	24	25	24	24	23	22	20	19	20	9	96%
純米吟醸酒	25	26	24	29	32	37	42	45	45	45	40	42	46	25	107%
純米酒	62	54	57	58	59	62	65	67	64	62	55	53	55	29	102%
本醸造酒	169	111	73	56	52	49	46	43	38	35	27	24	25	12	102%
一般酒	842	650	485	416	399	382	362	353	324	302	276	266	259	127	96%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。令和5年は概算値。

注1：日本酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒、本醸造酒等に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

日本酒の輸出状況

- 日本酒の国内出荷量が減少傾向にある中、輸出量については、海外での日本食ブーム等を背景に増加傾向で推移しており、令和2年は新型コロナウイルス感染症の世界的なまん延等の影響により減少したものの、令和3年には大幅に回復しました。
- 令和4年においても、輸出量は対前年比+12%と堅調に推移しましたが、令和5年1～7月においては、対前年同期比▲18%と減少しています。

日本酒の輸出量の推移

(千kl)

	平成	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和	2年	3年	4年	5年	
	10年									元年				(1～7月)	対前年同期比
日本酒輸出量	8	8	12	16	16	18	20	23	26	25	22	32	36	17.2	82%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	4	5	5	6	6	6	5	9	9	3.7	64%
中華人民共和国	0	0	0	1	1	2	2	3	4	5	5	7	7	3.9	97%
香港	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	1.5	90%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	1.6	92%
大韓民国	0	0	2	4	3	3	4	5	5	3	2	2	4	2.6	119%
その他	2	2	3	4	4	5	5	6	6	6	5	8	10	4.0	72%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

以上のほか、詳細な情報は、以下URLにより「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米の需要量調査結果」を参照ください。

URL：https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

1 米の民間在庫情報

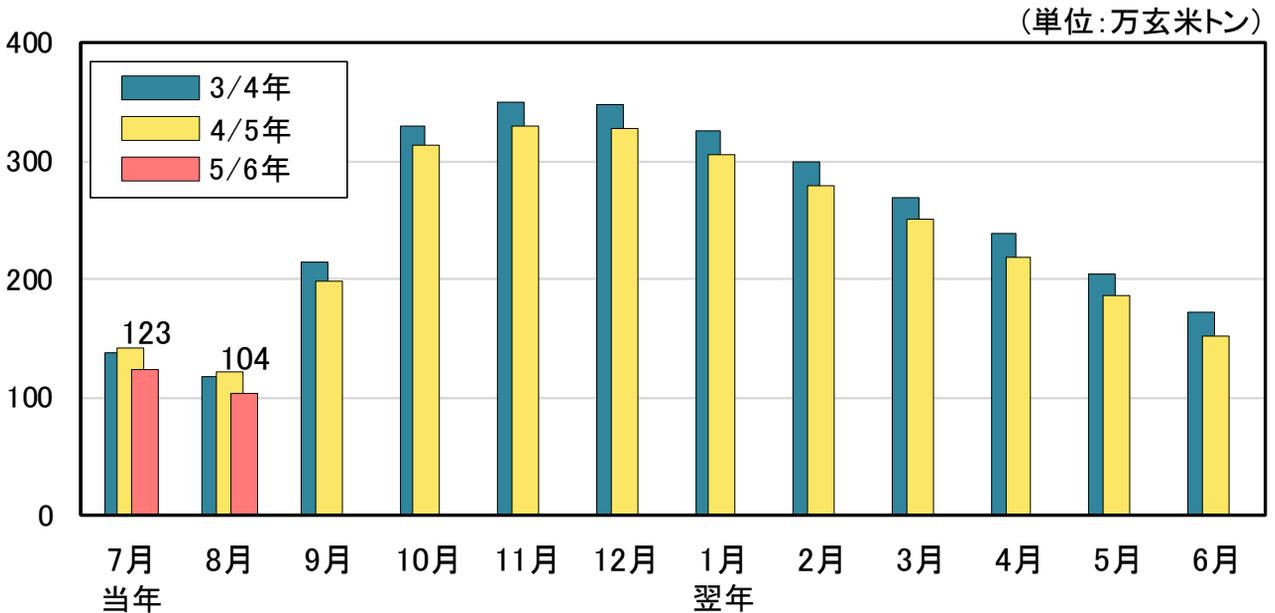
1 民間在庫の推移

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

- 令和5年8月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差▲18万トンの104万トンとなっている。また、流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差▲19万トンの78万トン、販売段階で+2万トンの26万トンとなっている。

※ 産地別の在庫量は、「在庫-5」以降を参照。



【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

【出荷＋販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
29/30年	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲18	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	▲6
29年産米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+13	+7	+6	+11	+16	+23
元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
2年産米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
3/4年	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172
対前年差	+19	+17	+24	+6	+6	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1
3年産米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149
1年古米(2年産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
4/5年	142	122	199	313	330	328	306	280	251	219	186	153
対前年差	+4	+4	▲15	▲18	▲21	▲21	▲20	▲19	▲20	▲18	▲19	▲18
4年産米	1	12	112	236	263	273	259	240	217	191	163	134
1年古米(3年産)	124	94	71	59	49	40	33	26	21	17	14	11
5/6年	123	104										
対前年差	▲20	▲18										
5年産米	1	14										
1年古米(4年産)	106	78										

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 期間については、5/6年であれば、令和5年7月～6年6月である。
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

【出荷段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
29/30年	84	66	124	231	262	257	240	218	186	158	130	103
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲19	▲20	▲18	▲14	▲13	▲12	▲9
29年産米	0	11	89	211	247	248	233	213	183	155	128	102
1年古米(28年産)	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	1
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30年産米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1年古米(29年産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元年産米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
2/3年	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132
対前年差	+10	+15	+23	+27	+27	+22	+26	+27	+33	+29	+24	+23
2年産米	0	9	108	236	263	268	258	237	211	182	158	129
1年古米(元年産)	82	60	42	28	20	14	10	7	5	4	3	3
3/4年	106	90	178	277	298	296	279	256	226	196	169	139
対前年差	+22	+20	+27	+12	+13	+12	+10	+11	+9	+10	+7	+7
3年産米	0	8	115	227	255	261	249	231	206	179	154	126
1年古米(2年産)	103	80	61	47	40	33	28	24	19	16	14	13
4/5年	116	98	166	262	277	276	259	236	204	176	149	121
対前年差	+10	+8	▲12	▲15	▲21	▲20	▲20	▲20	▲22	▲20	▲20	▲18
4年産米	0	9	97	208	231	239	228	210	185	160	136	110
1年古米(3年産)	103	78	58	44	36	29	24	19	14	11	9	7
5/6年	95	78										
対前年差	▲21	▲19										
5年産米	0	10										
1年古米(4年産)	86	61										

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	31
対前年差	▲2	▲1	▲1	±0	+1	+1	+3	±0	+1	+2	+2	+2
29年産米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	28
1年古米(28年産)	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	2
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30年産米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1年古米(29年産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元年産米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41
対前年差	+10	+7	+6	+3	+2	+1	+1	+1	▲2	▲2	▲3	▲4
2年産米	0	3	15	30	34	36	33	32	34	33	27	33
1年古米(元年産)	30	24	19	23	20	16	13	10	9	7	6	4
3/4年	32	28	36	53	53	53	46	43	44	42	35	32
対前年差	▲3	▲2	▲3	▲5	▲7	▲5	▲6	▲4	▲3	▲2	▲2	▲8
3年産米	0	3	14	26	30	32	29	28	30	30	25	24
1年古米(2年産)	25	20	16	20	16	14	11	9	9	7	5	4
4/5年	26	25	33	50	52	52	47	44	46	43	36	33
対前年差	▲6	▲4	▲3	▲3	▲1	▲1	+1	+1	+2	+2	+1	±0
4年産米	0	3	15	28	32	34	31	31	32	31	26	24
1年古米(3年産)	20	17	13	15	13	11	8	7	8	7	5	4
5/6年	27	26										
対前年差	+1	+2										
5年産米	0	4										
1年古米(4年産)	20	17										

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

(2) 産地別民間在庫の状況

単位：千玄米トン

	4年	4年	5年	対前年	対前年	5年	対前月差	対前年	対前年
	7月	8月	7月	同月差	同月比	8月		同月差	同月比
	①	②	③	④=③-①	⑤=③/①	⑥	⑦=⑥-③	⑧=⑥-②	⑨=⑥/②
	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(%)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(%)
北海道	158.7	125.1	126.6	▲ 32.2	▲ 20.3%	91.0	▲ 35.6	▲ 34.1	▲ 27.3%
青森	63.7	48.9	62.5	▲ 1.2	▲ 1.9%	46.6	▲ 15.9	▲ 2.3	▲ 4.7%
岩手	80.5	66.5	62.0	▲ 18.5	▲ 23.0%	46.2	▲ 15.8	▲ 20.3	▲ 30.5%
宮城	112.7	92.5	85.5	▲ 27.2	▲ 24.1%	69.7	▲ 15.8	▲ 22.8	▲ 24.7%
秋田	108.2	79.7	73.3	▲ 34.9	▲ 32.3%	48.8	▲ 24.5	▲ 30.9	▲ 38.8%
山形	92.2	70.8	79.4	▲ 12.9	▲ 14.0%	61.0	▲ 18.3	▲ 9.8	▲ 13.8%
福島	81.0	63.6	73.5	▲ 7.4	▲ 9.2%	55.9	▲ 17.6	▲ 7.7	▲ 12.1%
茨城	48.2	54.8	46.3	▲ 2.0	▲ 4.1%	54.8	8.5	+ 0.0	+ 0.1%
栃木	100.2	82.8	73.1	▲ 27.2	▲ 27.1%	58.2	▲ 14.9	▲ 24.6	▲ 29.7%
群馬	10.9	10.7	11.4	+ 0.5	+ 4.7%	9.0	▲ 2.4	▲ 1.7	▲ 15.8%
埼玉	16.5	14.2	16.4	▲ 0.1	▲ 0.5%	13.2	▲ 3.2	▲ 1.0	▲ 6.9%
千葉	21.4	48.6	13.4	▲ 8.0	▲ 37.4%	51.6	38.2	+ 3.0	+ 6.2%
東京	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	-	0.0	0.0	+ 0.0	-
神奈川	0.7	0.5	0.7	+ 0.1	+ 7.3%	0.5	▲ 0.3	+ 0.0	▲ 5.1%
山梨	1.7	1.3	2.2	+ 0.5	+ 30.0%	1.6	▲ 0.6	+ 0.3	+ 26.5%
長野	32.6	26.2	32.3	▲ 0.3	▲ 0.8%	27.0	▲ 5.4	+ 0.7	+ 2.9%
静岡	4.0	6.0	4.2	+ 0.2	+ 4.5%	6.8	2.6	+ 0.8	+ 12.7%
新潟	81.7	55.1	88.0	+ 6.4	+ 7.8%	65.0	▲ 23.1	+ 9.9	+ 18.0%
富山	33.1	27.0	33.9	+ 0.8	+ 2.3%	28.6	▲ 5.3	+ 1.6	+ 5.9%
石川	32.2	29.5	25.3	▲ 7.0	▲ 21.6%	25.3	0.0	▲ 4.2	▲ 14.2%
福井	22.0	24.0	16.2	▲ 5.8	▲ 26.4%	20.4	4.2	▲ 3.6	▲ 15.1%
岐阜	15.1	13.5	17.0	+ 1.9	+ 12.3%	15.4	▲ 1.5	+ 1.9	+ 14.2%
愛知	14.0	12.8	12.5	▲ 1.5	▲ 11.0%	11.3	▲ 1.2	▲ 1.5	▲ 11.8%
三重	11.0	16.9	8.0	▲ 3.0	▲ 27.1%	15.8	7.8	▲ 1.1	▲ 6.5%
滋賀	26.4	21.9	19.7	▲ 6.6	▲ 25.2%	16.8	▲ 3.0	▲ 5.1	▲ 23.3%
京都	3.5	2.2	4.0	+ 0.5	+ 15.9%	2.4	▲ 1.6	+ 0.1	+ 5.1%
大阪	0.6	0.5	0.8	+ 0.2	+ 39.4%	0.6	▲ 0.2	+ 0.2	+ 34.0%
兵庫	19.8	15.4	18.2	▲ 1.6	▲ 7.9%	14.2	▲ 4.0	▲ 1.2	▲ 7.7%
奈良	4.4	3.6	5.8	+ 1.4	+ 31.4%	4.7	▲ 1.1	+ 1.2	+ 33.3%
和歌山	0.8	0.7	1.3	+ 0.5	+ 69.1%	1.1	▲ 0.2	+ 0.4	+ 50.3%
鳥取	14.0	11.0	9.6	▲ 4.4	▲ 31.4%	6.3	▲ 3.3	▲ 4.7	▲ 42.7%
島根	11.8	9.4	11.6	▲ 0.3	▲ 2.2%	9.1	▲ 2.5	▲ 0.3	▲ 2.9%
岡山	20.7	14.0	18.2	▲ 2.5	▲ 12.1%	13.1	▲ 5.1	▲ 0.9	▲ 6.7%
広島	17.6	14.3	14.2	▲ 3.3	▲ 19.0%	10.2	▲ 4.0	▲ 4.1	▲ 28.7%
山口	16.6	14.8	18.0	+ 1.4	+ 8.5%	14.5	▲ 3.5	▲ 0.3	▲ 1.9%
徳島	2.8	10.1	1.8	▲ 1.0	▲ 35.7%	7.8	6.0	▲ 2.4	▲ 23.2%
香川	8.6	6.9	6.3	▲ 2.4	▲ 27.6%	4.1	▲ 2.2	▲ 2.8	▲ 41.0%
愛媛	5.0	6.4	7.2	+ 2.2	+ 43.1%	7.4	0.2	+ 1.0	+ 15.7%
高知	3.6	10.7	3.4	▲ 0.3	▲ 7.9%	9.6	6.2	▲ 1.1	▲ 10.7%
福岡	28.7	22.4	25.7	▲ 3.0	▲ 10.6%	17.2	▲ 8.5	▲ 5.3	▲ 23.4%
佐賀	18.1	15.3	15.5	▲ 2.6	▲ 14.4%	12.2	▲ 3.3	▲ 3.1	▲ 20.2%
長崎	5.5	5.1	3.4	▲ 2.1	▲ 38.3%	3.0	▲ 0.4	▲ 2.2	▲ 42.2%
熊本	20.9	17.9	15.3	▲ 5.6	▲ 26.8%	12.5	▲ 2.8	▲ 5.4	▲ 30.2%
大分	9.8	8.4	7.5	▲ 2.3	▲ 23.1%	6.0	▲ 1.5	▲ 2.4	▲ 28.1%
宮崎	10.7	12.5	8.3	▲ 2.3	▲ 21.9%	7.4	▲ 1.0	▲ 5.2	▲ 41.2%
鹿児島	12.8	14.1	12.6	▲ 0.3	▲ 2.0%	12.0	▲ 0.5	▲ 2.1	▲ 15.0%
沖縄	0.7	0.5	0.6	+ 0.0	▲ 6.8%	0.4	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 20.0%
全国	142万ト	122万ト	123万ト	▲ 20万ト	▲ 13.7%	104万ト	▲ 18万ト	▲ 18万ト	▲ 14.6%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

(3) 令和4・5年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

（北海道から秋田）

（単位：千玄米トン）

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷＋販売段階	126.6	91.0										
	5年産米												
	1年古米（4年産）	112.6	79.8										
	出荷段階	96.4	66.9										
	5年産米												
	1年古米（4年産）	87.0	59.5										
青森	販売段階	30.2	24.1										
	5年産米												
	1年古米（4年産）	25.7	20.3										
	出荷＋販売段階	62.5	46.6										
	5年産米												
	1年古米（4年産）	58.6	43.4										
岩手	出荷段階	48.4	34.7										
	5年産米												
	1年古米（4年産）	46.0	32.8										
	販売段階	14.1	11.9										
	5年産米												
	1年古米（4年産）	12.6	10.6										
宮城	出荷＋販売段階	62.0	46.2										
	5年産米												
	1年古米（4年産）	57.4	42.7										
	出荷段階	55.6	40.5										
	5年産米												
	1年古米（4年産）	51.7	37.3										
秋田	販売段階	6.4	5.7										
	5年産米												
	1年古米（4年産）	5.7	5.4										
	出荷＋販売段階	85.5	69.7										
	5年産米		0.0										
	1年古米（4年産）	79.5	64.6										
秋田	出荷段階	75.2	60.5										
	5年産米		0.0										
	1年古米（4年産）	71.2	57.1										
	販売段階	10.4	9.2										
	5年産米		0.0										
	1年古米（4年産）	8.4	7.5										
秋田	出荷＋販売段階	73.3	48.8										
	5年産米												
	1年古米（4年産）	62.7	40.0										
	出荷段階	62.1	39.6										
	5年産米												
	1年古米（4年産）	53.1	31.8										
秋田	販売段階	11.1	9.2										
	5年産米												
	1年古米（4年産）	9.6	8.2										

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注： 1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(山形から埼玉)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷+販売段階	79.4	61.0										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	73.9	56.6										
	出荷段階	67.8	50.4										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	64.8	48.0										
福島	出荷+販売段階	73.5	55.9										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	71.0	53.9										
	出荷段階	56.4	40.5										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	55.3	39.8										
茨城	出荷+販売段階	46.3	54.8										
	5年産米		21.1										
	1年古米(4年産)	35.6	24.6										
	出荷段階	32.1	37.1										
	5年産米		14.4										
	1年古米(4年産)	22.9	14.9										
栃木	出荷+販売段階	73.1	58.2										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	57.4	45.2										
	出荷段階	58.4	46.8										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	45.2	35.8										
群馬	出荷+販売段階	11.4	9.0										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	9.6	7.6										
	出荷段階	8.8	6.9										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	7.6	6.1										
埼玉	出荷+販売段階	16.4	13.2										
	5年産米		0.6										
	1年古米(4年産)	12.0	8.6										
	出荷段階	12.8	9.7										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	8.4	5.7										
	販売段階	3.7	3.5										
	5年産米		0.4										
	1年古米(4年産)	3.6	2.9										

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(千葉から静岡)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷+販売段階	13.4	51.6										
	5年産米	0.0	43.8										
	1年古米(4年産)	10.9	5.8										
	出荷段階	6.7	41.4										
	5年産米		39.1										
	1年古米(4年産)	4.9	0.9										
	販売段階	6.7	10.3										
	5年産米	0.0	4.7										
	1年古米(4年産)	5.9	4.9										
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	0.0	0.0										
	出荷段階												
	5年産米												
	1年古米(4年産)												
	販売段階	0.0	0.0										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	0.0	0.0										
神奈川	出荷+販売段階	0.7	0.5										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	0.7	0.5										
	出荷段階	0.7	0.4										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	0.7	0.4										
	販売段階	0.1	0.1										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	0.1	0.1										
山梨	出荷+販売段階	2.2	1.6										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	2.1	1.6										
	出荷段階	1.9	1.3										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	1.9	1.3										
	販売段階	0.3	0.3										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	0.2	0.3										
長野	出荷+販売段階	32.3	27.0										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	31.8	26.5										
	出荷段階	28.9	24.0										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	28.7	23.8										
	販売段階	3.5	3.0										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	3.0	2.7										
静岡	出荷+販売段階	4.2	6.8										
	5年産米		4.0										
	1年古米(4年産)	4.2	2.8										
	出荷段階	1.0	2.6										
	5年産米		2.1										
	1年古米(4年産)	1.0	0.5										
	販売段階	3.2	4.2										
	5年産米		1.9										
	1年古米(4年産)	3.2	2.3										

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(新潟から愛知)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷+販売段階	88.0	65.0										
	5年産米		1.8										
	1年古米(4年産)	82.5	58.5										
	出荷段階	73.8	53.2										
	5年産米		1.6										
	1年古米(4年産)	69.4	47.9										
	販売段階	14.2	11.8										
	5年産米		0.2										
	1年古米(4年産)	13.0	10.6										
富山	出荷+販売段階	33.9	28.6										
	5年産米		2.1										
	1年古米(4年産)	32.9	25.9										
	出荷段階	28.7	22.8										
	5年産米		1.2										
	1年古米(4年産)	28.7	21.6										
	販売段階	5.2	5.7										
	5年産米		1.0										
	1年古米(4年産)	4.2	4.2										
石川	出荷+販売段階	25.3	25.3										
	5年産米		6.4										
	1年古米(4年産)	18.5	13.2										
	出荷段階	20.5	19.3										
	5年産米		3.9										
	1年古米(4年産)	14.7	10.6										
	販売段階	4.8	6.0										
	5年産米		2.5										
	1年古米(4年産)	3.8	2.7										
福井	出荷+販売段階	16.2	20.4										
	5年産米		9.7										
	1年古米(4年産)	15.5	10.3										
	出荷段階	12.2	12.1										
	5年産米		3.9										
	1年古米(4年産)	11.8	8.0										
	販売段階	4.0	8.2										
	5年産米		5.7										
	1年古米(4年産)	3.7	2.3										
岐阜	出荷+販売段階	17.0	15.4										
	5年産米		1.1										
	1年古米(4年産)	15.1	12.9										
	出荷段階	13.6	11.2										
	5年産米		0.8										
	1年古米(4年産)	12.5	9.6										
	販売段階	3.4	4.3										
	5年産米		0.4										
	1年古米(4年産)	2.6	3.3										
愛知	出荷+販売段階	12.5	11.3										
	5年産米		2.1										
	1年古米(4年産)	12.1	8.9										
	出荷段階	10.2	9.0										
	5年産米		1.5										
	1年古米(4年産)	10.2	7.4										
	販売段階	2.3	2.3										
	5年産米		0.6										
	1年古米(4年産)	1.9	1.4										

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(三重から奈良)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
三 重	出荷+販売段階	8.0	15.8											
	5年産米		11.0											
	1年古米(4年産)	6.7	3.7											
	出荷段階	4.6	11.4											
	5年産米		9.1											
	1年古米(4年産)	4.1	2.0											
	販売段階	3.4	4.4											
	5年産米		1.9											
	1年古米(4年産)	2.6	1.8											
	滋 賀	出荷+販売段階	19.7	16.8										
		5年産米		2.8										
		1年古米(4年産)	18.6	13.2										
出荷段階		14.7	12.6											
5年産米			2.4											
1年古米(4年産)		14.5	10.0											
販売段階		5.0	4.2											
5年産米			0.4											
1年古米(4年産)		4.1	3.1											
京 都		出荷+販売段階	4.0	2.4										
		5年産米		0.1										
		1年古米(4年産)	4.0	2.3										
	出荷段階	3.2	1.6											
	5年産米		0.1											
	1年古米(4年産)	3.2	1.6											
	販売段階	0.8	0.7											
	5年産米		0.0											
	1年古米(4年産)	0.7	0.7											
	大 阪	出荷+販売段階	0.8	0.6										
		5年産米												
		1年古米(4年産)	0.8	0.6										
出荷段階		0.7	0.5											
5年産米														
1年古米(4年産)		0.7	0.5											
販売段階		0.2	0.1											
5年産米														
1年古米(4年産)		0.1	0.1											
兵 庫		出荷+販売段階	18.2	14.2										
		5年産米		0.0										
		1年古米(4年産)	17.6	13.8										
	出荷段階	14.8	11.3											
	5年産米													
	1年古米(4年産)	14.8	11.3											
	販売段階	3.4	2.9											
	5年産米		0.0											
	1年古米(4年産)	2.9	2.5											
	奈 良	出荷+販売段階	5.8	4.7										
		5年産米												
		1年古米(4年産)	5.1	4.1										
出荷段階		4.5	3.7											
5年産米														
1年古米(4年産)		3.9	3.2											
販売段階		1.3	1.0											
5年産米														
1年古米(4年産)		1.1	0.9											

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(和歌山から山口)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷+販売段階	1.3	1.1										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	1.0	0.8										
	出荷段階												
	5年産米												
	1年古米(4年産)												
鳥取	出荷+販売段階	9.6	6.3										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	9.1	6.0										
	出荷段階	8.1	5.2										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	7.8	4.9										
島根	出荷+販売段階	11.6	9.1										
	5年産米		0.4										
	1年古米(4年産)	10.8	8.0										
	出荷段階	9.5	7.0										
	5年産米		0.4										
	1年古米(4年産)	9.0	6.2										
岡山	出荷+販売段階	18.2	13.1										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	17.9	12.8										
	出荷段階	13.3	9.7										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	13.3	9.6										
広島	出荷+販売段階	14.2	10.2										
	5年産米		0.2										
	1年古米(4年産)	12.6	9.0										
	出荷段階	9.2	6.6										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	9.2	6.4										
山口	出荷+販売段階	18.0	14.5										
	5年産米		0.4										
	1年古米(4年産)	14.0	10.7										
	出荷段階	15.5	12.2										
	5年産米		0.3										
	1年古米(4年産)	11.8	8.6										
山口	販売段階	2.5	2.3										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	2.2	2.0										

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(徳島から佐賀)

(単位:千玄トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
徳島	出荷+販売段階	1.8	7.8											
	5年産米		6.8											
	1年古米(4年産)	1.6	0.9											
	出荷段階	0.7	6.0											
	5年産米		5.6											
	1年古米(4年産)	0.6	0.3											
	販売段階	1.1	1.8											
	5年産米		1.1											
	1年古米(4年産)	1.0	0.6											
	香川	出荷+販売段階	6.3	4.1										
		5年産米		0.2										
		1年古米(4年産)	6.0	3.8										
出荷段階		5.4	3.1											
5年産米														
1年古米(4年産)		5.3	3.1											
販売段階		0.8	1.0											
5年産米			0.2											
1年古米(4年産)		0.7	0.6											
愛媛		出荷+販売段階	7.2	7.4										
		5年産米		1.6										
		1年古米(4年産)	6.2	5.0										
	出荷段階	6.4	6.6											
	5年産米		1.6											
	1年古米(4年産)	5.5	4.3											
	販売段階	0.8	0.8											
	5年産米		0.1											
	1年古米(4年産)	0.7	0.7											
	高知	出荷+販売段階	3.4	9.6										
		5年産米	0.6	7.4										
		1年古米(4年産)	2.3	1.8										
出荷段階		0.6	3.7											
5年産米		0.4	3.6											
1年古米(4年産)		0.2	0.1											
販売段階		2.8	5.9											
5年産米		0.2	3.8											
1年古米(4年産)		2.1	1.7											
福岡		出荷+販売段階	25.7	17.2										
		5年産米		1.6										
		1年古米(4年産)	24.3	14.7										
	出荷段階	21.9	12.7											
	5年産米		1.1											
	1年古米(4年産)	21.8	11.5											
	販売段階	3.7	4.5											
	5年産米		0.5											
	1年古米(4年産)	2.5	3.2											
	佐賀	出荷+販売段階	15.5	12.2										
		5年産米		0.1										
		1年古米(4年産)	14.6	11.5										
出荷段階		13.4	10.5											
5年産米			0.1											
1年古米(4年産)		13.4	10.5											
販売段階		2.1	1.7											
5年産米			0.1											
1年古米(4年産)		1.2	1.0											

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷+販売段階	3.4	3.0										
	5年産米		0.6										
	1年古米(4年産)	3.0	2.1										
	出荷段階	2.7	2.4										
	5年産米		0.5										
	1年古米(4年産)	2.7	1.9										
	販売段階	0.7	0.6										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	0.3	0.2										
熊本	出荷+販売段階	15.3	12.5										
	5年産米		1.9										
	1年古米(4年産)	13.6	9.2										
	出荷段階	10.3	7.2										
	5年産米		1.0										
	1年古米(4年産)	10.0	5.9										
	販売段階	5.0	5.3										
	5年産米		0.9										
	1年古米(4年産)	3.7	3.3										
大分	出荷+販売段階	7.5	6.0										
	5年産米		0.5										
	1年古米(4年産)	6.8	5.0										
	出荷段階	4.8	3.9										
	5年産米		0.4										
	1年古米(4年産)	4.5	3.3										
	販売段階	2.7	2.1										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	2.2	1.8										
宮崎	出荷+販売段階	8.3	7.4										
	5年産米	5.0	5.2										
	1年古米(4年産)	3.2	2.1										
	出荷段階	5.2	2.7										
	5年産米	3.3	1.8										
	1年古米(4年産)	1.9	0.9										
	販売段階	3.1	4.6										
	5年産米	1.7	3.4										
	1年古米(4年産)	1.3	1.2										
鹿児島	出荷+販売段階	12.6	12.0										
	5年産米	0.8	2.7										
	1年古米(4年産)	7.6	5.7										
	出荷段階	7.3	6.9										
	5年産米	0.1	1.3										
	1年古米(4年産)	5.9	4.5										
	販売段階	5.2	5.1										
	5年産米	0.7	1.4										
	1年古米(4年産)	1.7	1.3										
沖縄	出荷+販売段階	0.6	0.4										
	5年産米	0.6	0.4										
	1年古米(4年産)	0.0	0.0										
	出荷段階	0.3	0.2										
	5年産米	0.3	0.2										
	1年古米(4年産)	0.0											
	販売段階	0.3	0.2										
	5年産米	0.3	0.2										
	1年古米(4年産)	0.0	0.0										

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。